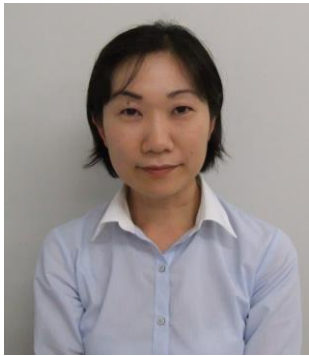


ふりがな 氏名	ふじ まりこ	都道府県	徳島県	
	藤 まりこ			
所属/肩書	徳島県立富岡東高等学校 / 教諭			
私のESD活動	学校教育における ESD の取り組み—講義から得た専門知識をもとに、生徒の ESD 活動を充実させる			

活動の概要

本校では、生徒の ESD 活動の充実を図るべく以下のような取り組みを行っている。①各専門分野の外部講師を招き、その内容に関する感想を毎回生徒に提出させる(年間に3~4回程度、主に1学期に実施する)。②夏季休業以降、各生徒は学校での講演会の内容やニュースなどを参考にしながら、各自で ESD に関わる課題を発見し、解決に向けての調査を開始する。私が昨年度担当した高校1年生は、講演内容と繋がりのある「防災」「環境とエネルギー」「国際関係」「経済と貧困」「健康」から関心のあるものを選び、調査を行った。③調査内容をもとに、複数の生徒からなるグループを編成し、パワーポイントのプレゼン資料を作成して、1月にポスター発表会を実施した。本校は中学校も併設されているので、中学2年生と高校1年生による合同発表会となった。④2~3月は ESD に関連のあるテーマを題材としたクラス対抗のディベート大会を実施した。情報収集や資料作成はクラス全体で行い、どの生徒も活動に参加するように指導した。⑤今年度の高校2年生では、実験なども取り入れて、より実践的な ESD を進めていくことを計画しており、2学期から実施する。

本校は県南の中高併設校で、諸活動を中高合同で行うことが多い。ESD 活動でも生徒たちは、各発達段階に応じた思考・判断のもとで互いに良い刺激を得ながら活動している。

○徳島県立富岡東高等学校 <http://tomiokahigashi-hs.tokushima-ec.ed.jp>

今後の活動や協働への展望

これからの社会を担う子どもたちが ESD の活動を楽しみながら実践できる環境を整えたい。子どもたちがやりたいことを見つけたとき、効果的に支援できる環境の有無によって、子どもたちの ESD の活動の幅が大きく変わってくる。私は、このコンファレンスで得られる人とのつながりや各分野に関する知識を子どもたちの ESD 活動への支援という形で還元したい。教員として学校で生徒と関わるなかで常に感じるのは、「子どもたちの発想力の豊かさ」「エネルギーの高さ」である。大人では考えつかないようなユニークな発想が、ESD の各分野の専門的な知識や実際に取り組まれている諸活動と結びつくことで、これまでにない成果として表れるのではないかと思う。これまでも数々の調べ学習を子どもたちは経験しているが、自分の関心事に対して、実に積極的に取り組む姿が見られた。子どもたちの ESD に触れる機会が増え、関心のあるものに出会うことができれば、積極的に課題研究を進めていくことが期待できる。そうした ESD の可能性を子どもたちの手で広げるには、身近な大人が ESD を実践していることが必要である。従って、まずは自分自身がこのコンファレンスで視野を広げ、多くの知識を持ち帰りたい。また、子どもたちの課題研究を各種の研究機関や自治体に伝えることも ESD の発展に必要である。教員である自分の役割として、子どもたちと外部の関係機関をつなぐ存在になりたいと考えている。